



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

# 佐世保中央ロータリークラブ週報

会長:岡 光正 / 副会長:芥川 圭一郎 / 幹事:馬渡 圭一



2025~2026年度クラブスローガン

## 例会に行こう

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会:委員長 / 橋口 佳周 副委員長 / 倉科 聰一郎  
委員 / 西村 浩輝、四元 清安、崎山 信幸、田中 啓輔、澤田 磨

本日の出席率 93.75% : 会員数 53名・出席 29名・欠席 8名・出席規定免除会員 8名・ビジター 0名  
前々回の修正出席率 94.10% : 出席 35名・メークアップ 0名



### 会長挨拶 / 岡 光正君



皆さんこんにちは。先週の木曜日から今日まで、ロータリー活動は何もなく一週間振りに馬渡幹事と会いました。先週開催した、松石智宏君の歓迎会には36名の皆様に、参加をして頂きお忙しい中有難うございました。

さて、今日は「何のために」という話をしたいと思います。私はロータリー活動の他に、佐世保島原ウルトラウォーカーラリーを運営する実行委員会に第一回から所属し活動しています。ご来訪頂いている立山社長も実行委員会メンバーであり、立山明日香様もボランティアスタッフとして何度もご活躍頂きました。今年も第14回が終了し、中央クラブからも参加者やボランティアスタッフとしてご協力頂き、大変感謝しているところです。今年の大会が終わった、5月15日の長崎新聞に、105キロに参加された、52歳男性が投稿した記事を見つけました。内容はこうです。「何のために、100キロを歩くのか自問」

「お父さんはなんで、きついのにお金を払って100キロも歩くの?」島原市から佐世保市までの105キロを、24時間以内に歩く「佐世保-島原ウルトラウォーカーラリー」。3日のスタート当日、娘からの問い合わせに答えられず「いい質問だね」とごまかした。そこで、歩きながら考えることにした。幸い時間はたっぷりある。お金を払うという事は、何かを買うという事だ。私は、何を買っているのだろう。105キロ歩くことはきついし、不安も大きい。ただ、完歩できたら達成感を味わえ、それなりの自信を得ることができる。経験した人にしか分からない視点が、身に付くかもしれない。完歩できなくても、向いていなかった、準備が不十分だったなどと考えることもできる。「何のために、お金を払ってまで歩くのか」。娘の質問に対する答えは「新しい自分を見つける機会を得るため」という結論にたどり着いた。

もう一つ、途中で出会った人から聞いた「完歩するなら、人と競争しないこと」という言葉も心に残った。こうした言葉が、私の中に染み込み、新しい自分を作っていく、ピースになるに違いない。と括ってありました。

この記事を読んだ時に、ふと思いました。もし家族から私に対し、「21万円の会費を払って、何のためにロータリー活動をしているの」と問われたら、果たして何と答えるでしょう。皆さんはどう答えますか。人それぞれに明確な答えがあると思います。私のロータリー活動は、道半ばゴールまで完歩していません。明確な答えは見つかりませんが、一つだけ自信を持って言える事は、「出会いを得るために活動しています。この後、立山明日香様に実体験をもとに「青少年に対する」奉仕活動の話をして頂きます。「何のために」活動されているかを新聞記事で読みました。大変感動致しました。この出会いに感謝しながら、想いを共有したいと思います。最後まで宜しくお願ひ致します。以上、会長挨拶とさせて頂きます。

### Report

### 幹事報告 / 馬渡 圭一君

#### 1. 来信

ガバナー事務所

- ・地区委員会主催講演会のご案内
- ・ハイライトよねやま 304 送付



### 結婚記念日

7月 7日 稲次 賢一・令子 ご夫妻  
7月 26日 吉野 英樹・昌美 ご夫妻



## 今月のお誕生日会員

昭和17年7月26日 鶴田 明敏君  
 昭和25年7月 5日 溝上純一郎君  
 昭和27年7月16日 崎元 英伸君  
 昭和31年7月 1日 池永 隆司君  
 昭和43年7月 2日 田中 啓輔君



## (^\_~) ニコニコボックス

### 岡 光正会長・芥川 圭一郎副会長・馬渡 圭一幹事

本日は有限会社立山印刷 代表取締役 立山浩一郎様、並びに明日カフェ 代表で、社会福祉士の立山明日香様にご来訪いただいております。お忙しい中でのご来訪、誠にありがとうございます。本日7月17日は、『東京の日』です！1868年(慶応4年)のこの日、明治天皇の詔勅によって江戸が東京に改称されました。東京の始まりの日ですね。

さて、本日の例会は立山明日香様によるゲスト卓話となっております。現在、福岡で家庭や学校に居場所がない少女たちを支える活動を行われている立山さん。奉仕活動を旨とする我々の活動にも通底する内容のお話を頂けるかと思います。本日もよろしくお願ひ致します。

### 鶴田 明敏君

誕生日祝いありがとうございます。

### 溝上 純一郎君

75歳の誕生日を迎えました。先日から後期高齢者の連絡、運転免許証の更新の連絡がありました。決して嬉しい事ではありません。

### 崎元 英伸君

昨日、無事誕生日を迎える事ができました。何歳なのかは忘れました。

### 池永 隆司君

7月1日ロータリーの年度替わりが誕生日でした。プレゼントありがとうございます。

### 本田 実君

6月末土日のどちらかの日に社用車日産キャラバンが燃えました。電気系統のショートで内部が火災、内部などの酸欠状態で消えてました。もちろん廃車です。自分で配線するなら必ずヒューズはつけましょう。

## 前田 真澄君

7月11日、南RC 7月15日ハウステンボス佐世保RCへのガバナー補佐訪問、クラブ協議会が無事に終わりました。同行して頂きました田雜パスト会長、川崎君、古賀勝君、古賀ゆりえ君、ありがとうございました。色々と同行スケジュールを行って頂いています。池永パスト会長もありがとうございます。明日は南RCさんのガバナー公式訪問です。

### 田中 啓輔君

57歳です。

### 芥川 圭一郎君

先日「夏の砂の上」を見てきました。内容は・・・でしたが、オダギリジョーが働いていた中華料理屋「天天有」は同級生の店です。

本日の合計	12,000円
本年度の累計	272,000円



## 本日の卓話

明日カフェ 代表  
社会福祉士 立山 明日香様

### 愛燐燐プロジェクト活動報告



#### 目次 (Agenda)

##### プロジェクト概要

少女たちの居場所づくりについての基本理念と目的

##### 自己紹介と始めた動機

草野真由美と立山明日香のプロフィールと活動の歴史

##### 活動の流れと進捗

これまでの活動経緯と現在の状況

##### AO 具体的な事例紹介と貢献支援

実際の支援事例と団子屋による貢献支援の取り組み

本日のプレゼンテーションでは、上記の内容に沿ってお話を進めてまいります。

最後に質問への回答問題と一緒に答える時間も設けてあります。約60分の予定でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。



#### プロジェクト概要: 少女たちの居場所づくり



私たちのプロジェクトは、施設や学校以外の「他の居場所」を提供することを目的としています。心理的支援や必要な情報、安心できる交流の場を通じて、少女たちの自信・肯定感を高め、プログラムを実施しています。

心のケアからまり、就労支援へつなげ、最終的には精神的自立を目指してています。少女たちが自分の価値を認め、社会につながりながら成長できる環境づくりに取り組んでいます。



#### 活動の流れ

11月 12月 ルーム決定、選考・派遣

1月 活動スタート、フリースペース確保

2月 天神に新たな居場所を開設

私たちの活動は昨年11月から12月にかけて、プロジェクトのルーム決定や開設準備の段階、関係者との協議から始まりました。基本的に方針や支援の枠組みを決めるところに注力しました。

今年1月には実際の活動をスタートさせ、少女たちが集まれるフリースペースを確保しました。そして2月には活動が正式に始まり、天神区に新たな居場所を開設することができました。これにより、より多くの少女たちにアクセスしやすい環境を整えることができています。



## 少女たちの共通項・背景にあるもの

家にいたくない  
親にも問題がある  
ネットで出会う  
自傷行為



SAA : 井上 亮



団子屋による就労支援

